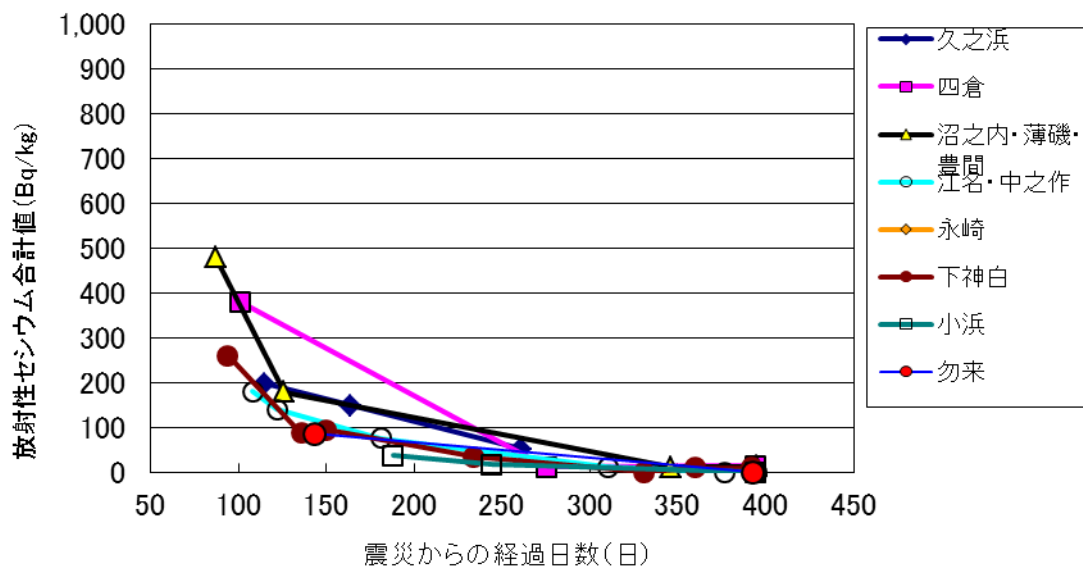


魚種別の傾向【アワビ】

<コメント>

震災後間もない時期には暫定規制値の500Bq/kgに近い地区もありましたが、その後は低下し、180日以降は100Bq/kg以下で推移し、300日以降は不検出もしくは低い数値となっています。

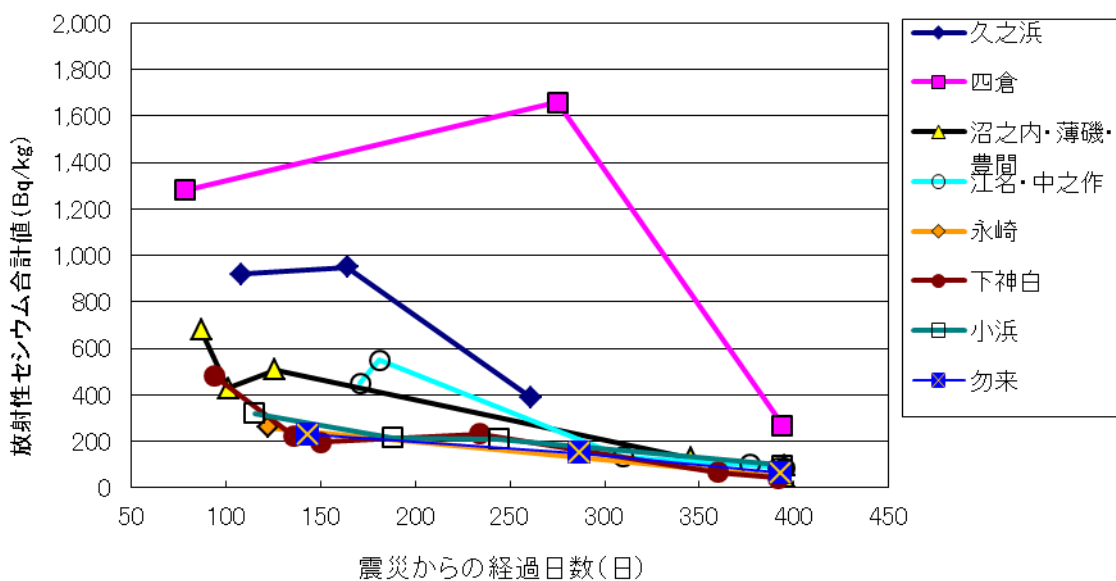


アワビの放射性セシウム濃度(平成24年4月18日現在)

魚種別の傾向【キタムラサキウニ】

<コメント>

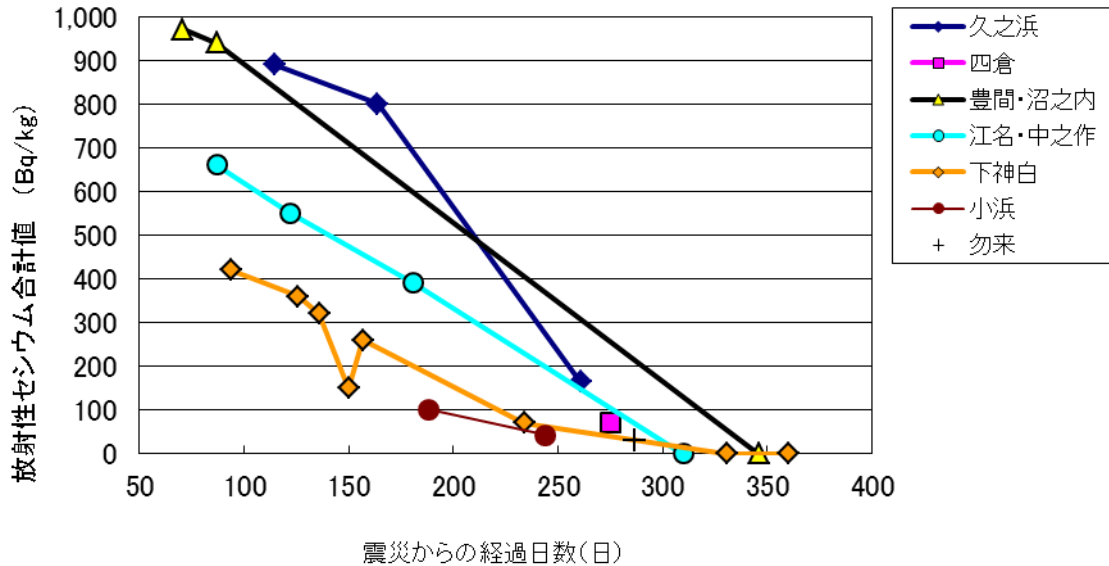
震災後間もない時期は500Bq/kgを超えた地区もありました。その後は、全体としては低下傾向にありますが、約400日経過した時点でも100Bq/kgを超えた地先もみられます。



魚種別の傾向【アラメ：海藻の一種 地方名カジメ】

<コメント>

震災後間もない時期は 500Bq/kg を超えた地区もありましたが、その後は低下し、300 日以降は不検出となっています。



アラメの放射性セシウム濃度(平成24年3月14日現在)